

森 林 工 芸 館

作り手講師陣による指導体制や、流通販売部門を担う一般社団法人が設立されて3年目を迎えます。地域ブランドとしてのオケクラフトの確立に向けて、体制整備や内容の充実に向けた取り組みを推進します。

作り手養成塾は、1名を受け入れ2年生と合わせて3名になります。個に応じた指導方法など、より効率的・効果的に進めます。

ども工房では、全国に点在する秋岡応援団の協力を得ながら、秋岡コレクションの継続的な活用事業と手仕事文化の更なる情報発信に努めます。

図 書 館

地域図書館としての機能を高め、多くの町民に愛される「本のあるみんなの広場」としての図書館づくりを進めます。特に子ども読書活動の推進を一層図るため、引き続き小学生推薦図書「おけとこどものほんだな」の改定と、幼年期の親子向け推薦図書の選定と推奨を図ります。

「語りつなぐ歴史と証言」発刊後も、地域の歴史と証言を記録することの重要性から、収集・保存・公開を継続していきます。さらに、貴重な保存資料である置戸タイムスのマイクロフィルムと歴史的な出来事や伝統行事などが保存された映像・写真・フィルムなどの保存媒体の劣化が懸念されることから、最適かつ効率的な保存媒体・保存方法について、デジタル化を検討いたします。

学 校 給 食

成長期にある児童生徒の健康増進を図るため、栄養豊かな給食を提供するとともに、栄養教諭と教職員が連携し、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるよう、積極的に食育に取り組みます。

食物アレルギーを持つ児童生徒には、対応方針に沿って万全を期するとともに、施設設備の衛生管理や調理関係職員の健康管理を徹底し、安全で安心な給食の提供に努めます。また、地元食材を積極的に取り入れ、季節や行事に配慮しながら、地域の特色を活かした給食の提供に努めます。

郷土資料・文化財関係では、札幌学院大学との地域交流協定の締結後5年を迎えます。これまで考古学実習を中心に、勝山地区との地域交流、経済学分野でのオケクラフト研究など様々な活動が行われてきました。今後更なる活動の広がりを推進するため、地域交流協定の更新を行います。札幌学院大学より提案のあった考古学分野での国際シンポジウムの開催に向けた協議や「小さな博物館のある街づくり構想」についても検討を進めます。

施設改修では、老朽化している中央公民館講堂の舞台照明設備の改修、境野公民館建て替えに伴う実施設計を行います。

社 会 体 育

ファミリースポーツセンターは、耐震改修工事により安全で快適な施設として生まれ変わりました。トレーニングルーム及びトレーニング機器の充実が図られたことから、健康運動指導士によるトレーニング指導を定期的に行い、あらゆる年代に合わせた体力づくりをはじめ、運動機能回復訓練などが楽しくできるようサポートします。

子どもの体力低下が大きな課題となっていることから、小学校低学年を対象とした「おけとわんぱくクラブ」の開催、プロスポーツ選手を招いての少年少女スポーツ教室の開催、スポーツ少年団活動への支援など、保護者や地域、小学校と連携し子どもたちの体力と運動機能の向上に努めます。



少年少女野球教室の様子（平成28年9月）

施設改修では、多目的交流施設「げんき」の照明器具のLED化、ファミリースポーツセンターの耐震・大規模改修工事に引き続き外構工事として駐車場の整備などを行います。